感染症等の対策に関する留意事項について（バスケットボール競技）

大会の週に陽性者が出た場合の対応

・陽性者・濃厚接触者は大会参加できません。

・保健所の疫学調査が終了していない場合の出場は見合わせてください。

無観客試合で大会を実施します。

（動画撮影者2名の入場は可能です。一覧表に一緒に記入し同時に入場して下さい。）

各校バスケットボール部員・役員（協会関係者）、学校管理職、業者以外は会場に入れません。

会場は常時換気を行います。ご協力ください。

（１）生徒の参加については、参加同意書・行動履歴表・健康調査票を各校で用意し、一覧表を提出すること。

　　記載内容を確認して、欠席者がいる場合はその理由を受付時に申告すること。

（２）各チームで参加者の大会前2週間からの検温をしておくこと。また、会場入場時、検温・消毒を行うこと

（３）大会前日までに発熱など風邪の症状が見られる時はその生徒・役員の参加を見合わせ、自宅で休養させること。また、陽性者・体調不良者が出た場合、発症から遡って48時間以内にチーム活動を行っており、濃厚接触者が特定されず疫学調査が終わっていない場合、参加を見合わせてください。（JBAガイドラインP30～32）

（４）1試合前に会場入りし、試合後のTOが終了後、すみやかに帰校（宅）すること。

（５）会場内に入る生徒（競技中以外）･競技役員･補助員･引率者･観客等は、必ずマスクを装着すること。

　　ベンチ選手・スタッフは試合時もマスク装着、審判もハーフタイム・クォータータイム・タイムアウト時はマスク装着すること。TO・フロアーワイパーもマスク装着すること。

　　エントリー外の部員はマスク装着の上、社会的距離（２ｍ）を確保すること。

また、人との距離をできるだけ２ｍ保つこと。（休憩時、昼食時等の観覧席でも行ってください）

競技役員、補助員等の座席、観客席で待機している生徒は、１～２ｍの社会的距離を保つこと。

（６）会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。

（７）同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。

（８）競技に使用するTO器具については、TOを行ったチームで消毒を行う。ベンチは試合後に該当チームで責任をもって消毒すること。

（９）更衣室や控室等は、1試合前から利用し、更衣後、荷物は全て持ち出すこと。動線ファイルに記載してある使用時間に従うこと。

（10）試合後の更衣室利用は、次の試合が終了するまでとする。

（11）選手・監督・スタッフは、試合時間以外のマスクを厳守すること。（スタッフ、ベンチメンバーも装着してください。コーチが指示を出すときもマスクを装着してお願いします。）

（12）試合中の応援は声を出さずに拍手のみで行うこと。

（13）会場内で人との接触を減らすために、選手、役員の導線を区分するので注意すること。

バスケットボール競技は複数の会場があり、各会場の注意事項に従うこと。

コロナ対策は参加者の協力が必要です。ご協力よろしくお願いいたします。

第3ゲームのチームは第1ゲームのTOをお願いします。（大分市のチームが優先的にお願いします。）